

平成二十八年年度

文責 上村公之

玉東中学校便り

その時、どう動く

第八号

平成二十八年十月二十日

ALL BEST

分かれ合おう

郷土の魅力と温かさ

十月十六日（日）に玉東中学校文化祭を開催しました。このテーマには、大と人とのつながりが強い私たちの故郷を見つめ直し、玉東町の魅力と温かさをみんなに分かち合いたい」という生徒の思いが込められています。

まず、本校の文化の象徴とも言える吹奏楽部の演奏で幕が開きました。県吹奏楽コンクールAパートにわずか二十人で出場し、銀賞と特別賞に輝いたレベルの高い演奏は聴く人全てを魅了しました。

次に作文発表、英語暗唱と続き、文化祭のメインでもある各学年のステージ発表です。



25分間で5曲を演奏しました

●一年生は、熊本地震で考えさせられた「災害時の食」について、また、今年四月から稼働した「町の共同調理場」について、「食」という視点から調べたことを発表しました。さらに、新聞でも紹介された「消費者教育」で学んだことを劇にして伝えました。

●二年生は、七月に三日間、町内外の十九の事業所で行った職場体験学習を通して学んだことを、写真を使った掛け合い劇という新たな試みで発表しました。最後に事業所の方に「プロフェッショナルとは…」というテーマで、それぞれの思いを語っていただきました。

●三年生は、劇「なっちゃん」を通して、いつでもどの子供にも起こり得る「いじめ」の実態について深く考えました。一時間の大作でしたが、時間が経つのを忘れてしまうほどの迫真の演技で、ラストでは多くの方が涙するほど劇に引き込まれてしまいました。

●幕間には、新体操や創作ダンスの発表、生徒会による「玉東レンジャーショー」や職員による合唱もあり、大いに盛り上がりました。

●午後は文化祭の華とも言える「合唱コンクール」を行いました。授業はもとより、始業前、昼休み、放課後と練習に励んできた成果を発表しました。クラスの心を一つにしたハイモニーが体育館中に響き渡る素晴らしい合唱ばかりで、審査に来ていただいた先生が、玉東中の合唱のレベルの高さに感動されました。特に三年生の合唱は、中学生の域を超えているとして、三年一組・二組が同時に金賞という異例の審査結果でした。

日頃の中学生の頑張りや努力が、文化祭を通して皆様に伝えることができたのではない

かと思っっています。最後まで温かく見守り励ましてくださいました来賓の皆様、地域や保護者の皆様、本当にありがとうございます。

中体連駅伝大会開催

十月十九日、横

島町の熊本牧場付近周回コースで、男子六区間 約20km、女子五区間 約12km)で、管内十六校の学校対抗戦形式で駅伝大会が開催されました。昨年度の成績「男子八位、女子五位」を更に上回ろうと、年間を通しての朝のマラソン、夏休みの陸上練習、九月からの放課後の練習と、選手は一生涯懸命に長距離のトレーニングに取り組んできました。



男子A：1区から2区へのタスキリレー

その結果、男子は五位、女子は六位という結果でした。男子は一区の塩井君が区間二位、二区の二宮君が区間三位の好タイムでリズムを作り、昨年度のタイムを二分五十八秒も短縮しました。オープン参加の男子Bチームも昨年度のタイムを二分四十八秒も短縮する好走を見せてくれました。女子は一区の長沼さんが区間賞の走りでチームを勢いに乗せましたが、惜しくも昨年度のタイムに十八秒届きませんが、懸命にタスキをつなぐ生徒の姿に、玉東中の更なる前進を確信しました。